

北海道小学校長会教育研究日高大会 大会実行委員長挨拶

新ひだか町立高静小学校長 久保田 達也



昨年9月の第56回北海道小学校長会教育研究渡島・北斗大会が全道の校長会が総力をあげて研鑽する場となり大きな成果を挙げて幕を閉じました。北海道小学校長会そして大会開催に向け、周到な準備と、きめ細かな運営にご努力された渡島小中学校長会の校長先生方に改めて感謝を申し上げます。

さて、日高の地において道小の研究大会が開催されるのは、初めてのことであります。今、大きな期待と責任を感じ、身が引き締まる思いです。

日高は、全国的にも有名な数々の競走馬を輩出した優駿の里です。すでにご案内のとおり日高大会は「歴史と伝統文化の香りがただよう優駿の里 日高から未来に育つ子どもたちに 若駒のような活力を！」をキャッチフレーズに掲げ、本年9月12日金曜日、13日土曜日の両日、日高管内の中央に位置する、新ひだか町及び新冠町において開催をいたします。

道小の研究主題が昨年度の渡島・北斗大会から新たに設定され、日高大会ではさらなる研究と実践の積み重ねが求められています。渡島・北斗大会の成果をしっかりと受け継ぎ、大会主題及び研究課題の解明に向けた分科会活動がより充実したものとなるよう、日高地区校長会の総力を挙げて準備運営を進めてまいります。

現在小学校会員29名、中学校会員15名の少人数ではありますが、大会開催に向け、日高大会実行委員会を設立し、会場、宿泊先の確保、分科会運営と課題を一つ一つクリアしながら、鋭意準備を進めております。

また、当日の分科会運営については、記録者として、胆振、空知の校長先生のお力をお借りすることになっていきます。この場を借りてお礼を申し上げます。

後日、日高大会の2次案内を配布することになっていますが、なにぶん宿泊並びに会場等が限りがあることから、当日の移動等でご不便をおかけすることも想定されます。どうぞご理解のほど宜しくお願い致します。ともあれ、

9月には、全道の校長先生方を日高の優駿の里にてお待ちしております。今後どうぞよろしくご支援をお願い致します。